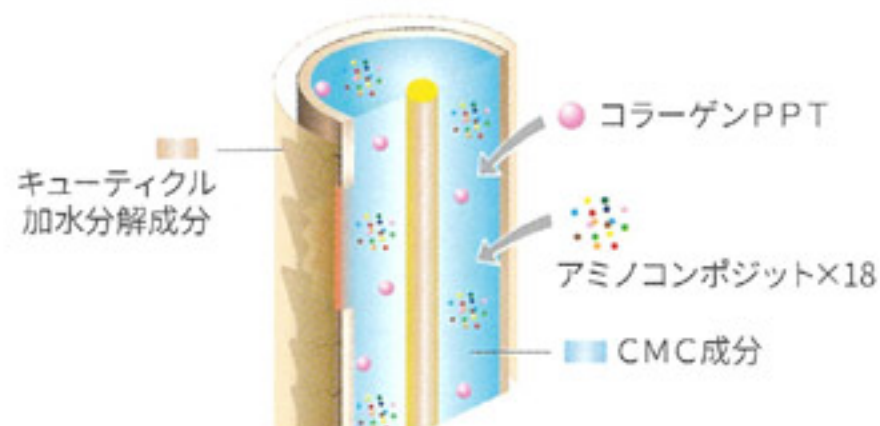


フェルエ ケアパック

カラーやパーマの後処理で、またはホームケアとしても使用できるフェルエ ケアパック。
ダメージを補修し、うるおいをとじこめることで手触りの良いすこやかな髪に導きます。

施術で受けたダメージもしっかり補修



施術によってダメージを受けた髪の内側を
しっかり補修し、外側を柔らかい皮膜で
コーティングすることでしっとり、なめらかな
質感に仕上がります。



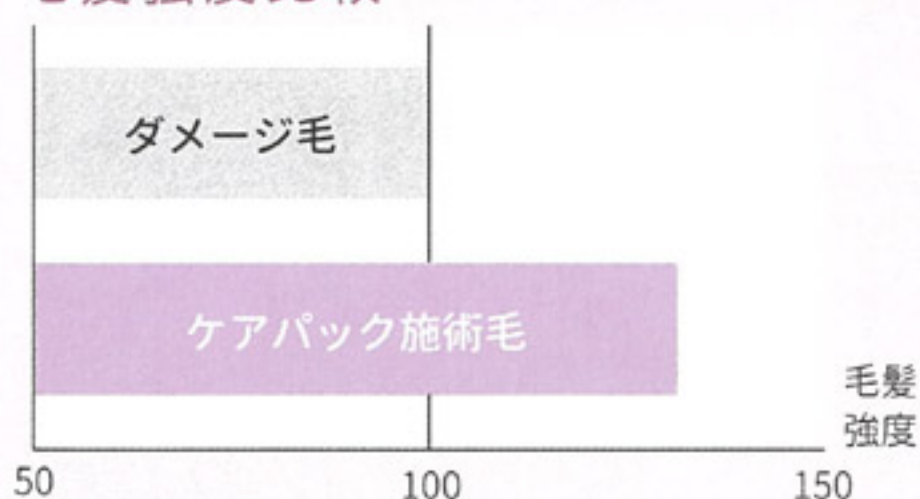
フェルエ ケアパック

〈pH : 5.0〉 後処理

- ・キューティクル加水分解成分^{#1} (毛髪保護成分)
- ・コラーゲンPPT (毛髪補修・保湿成分)
- ・アミノコンボジット×18^{#2} (毛髪補修・保湿成分)
- ・CMC成分 (毛髪補修成分)
 - イソアルキル (C10-40) アミドプロピルエチルジモニウムエトサルフェート
 - セラミド2
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量
15g×3
230g
650g
650g (詰替)

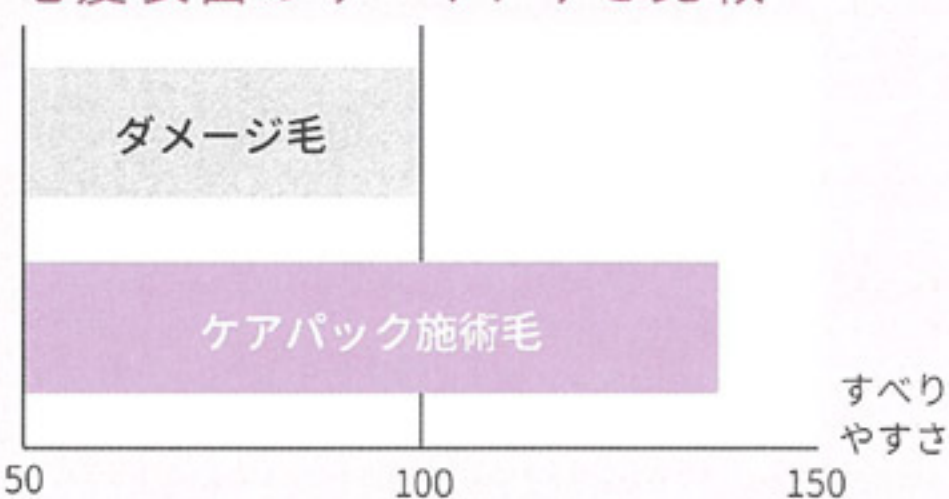
毛髪強度比較



point

ケアパックを使用することで、
毛髪の強度が高まるのが分かります

毛髪表面のすべりやすさ比較



point

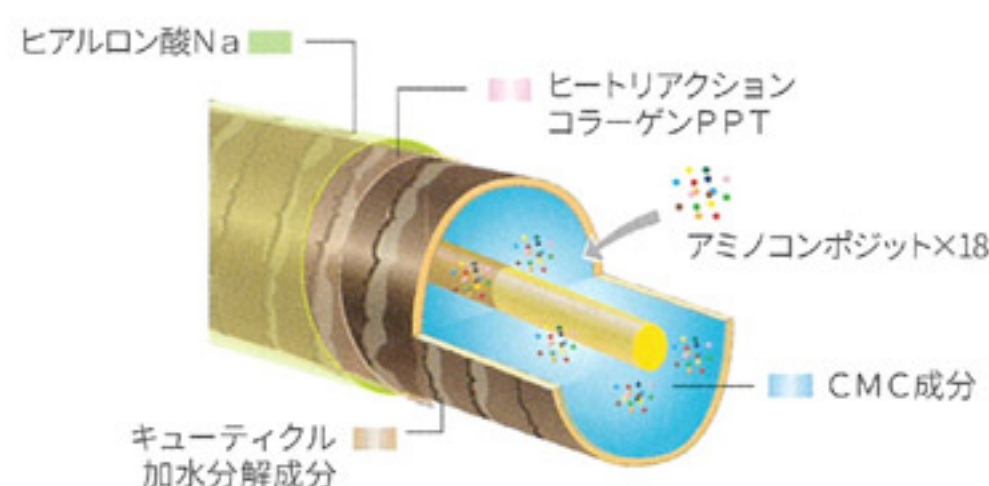
ケアパックを使用することで、
手触りが良くなるのが分かります

○実験はすべてサンコール調べ

フェルエ アクアナリッシュ

サロンケアとしてもホームケアとしてもご使用いただけるフェルエ アクアナリッシュ。
うるおいを与えるだけでなく髪を熱から守ることで、美しい髪に導きます。

熱から髪を守りながら、うるおい補給

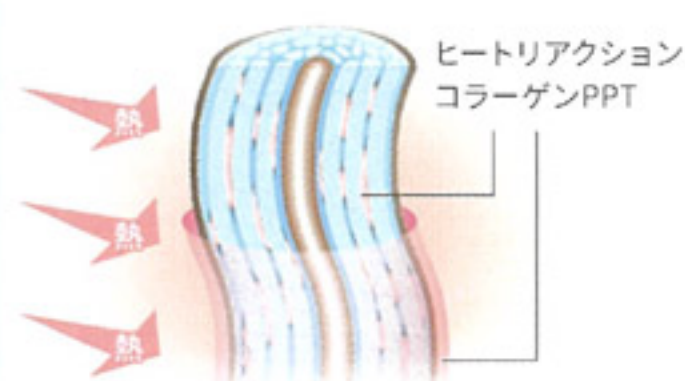


たっぷりうるおいを与え、髪の内側を
補修し、しっとりとした髪に仕上げます。
ドライヤーやアイロン前に使用することで、
熱によるダメージから髪を保護し、
ヘアデザインを美しくキープします。

point

ヒートリアクションコラーゲンPPTって何？

熱に反応し、髪の内側と外側からケアします



髪の内側から

髪の内側に浸透したヒートリアクションコラーゲンPPTが熱によって
ダメージ部分に固定されるため、ヘアデザインをキープします。

髪の外側から

ヒートリアクションコラーゲンPPTは、熱に反応し髪の内側をコート
するので、髪の内側にうるおいを閉じこめ、つやのあるなめらかな
髪に仕上がります。



フェルエ アクアナリッシュ

〈pH : 5.5〉 前処理/中間処理/後処理

- ・ヒアルロン酸Na (保湿成分)
- ・キューティクル加水分解成分^{#1} (毛髪保護成分)
- ・ヒートリアクションコラーゲンPPT^{#3} (毛髪補修・保護成分)
- ・アミノコンボジット×18^{#2} (毛髪補修・保湿成分)
- ・CMC成分 (毛髪補修成分)
 - ラウロイルグルタミン酸ジ (フィトステリル/オクチルドデシル)
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸
- ・ローズウォーター (保湿成分)

容量
50mL
180mL
700mL (詰替)

フェルエ グロスコート

髪表面をコーティングし、毛先までつや感のあるしなやかな髪に導くグロスコート。
カチオン化セルロース※¹（毛髪保護成分）に着目しながらグロスコートについてご紹介します。

どういう仕組みでコーティングされるの？

分子量が大きく、髪に吸着しやすいカチオン化セルロースが髪一本一本をコーティング。コーティングすることで、髪の内部の水分を保ちながらタンパク質の流出を防ぎ、つやのあるしなやかな髪に仕上げます。



カチオン化
セルロース

カチオン化セルロースが髪の表面をコーティングします
メッシュ状にコーティングされるため、
グロスコート使用後も薬液は浸透します

point

アルカリ性なら、さらに効率よく吸着



プラスの電荷を帯びたカチオン化セルロースは毛髪がアルカリ性になっていると、さらに効率よく吸着する性質があります。カラーやパーマと組み合わせて使用することで、よりコーティングされつやが出ます。

どれくらいつやが出るの？

塗布前後のつや比較

未処理毛



グロスコート施術毛



point

髪表面がコーティングされ、染料やPPTの流出もおさえられる

粘性は？

粘性比較



カチオン化セルロースの
配合量は弊社従来品の
約1.33倍

弊社従来品 グロスコート

point

配合量がUPしたことにより
粘性が高くなり、髪に留まりやすい

どんなメニューが展開できる？

つやつやカラー

1剤と2剤を混ぜたカラーカップに、
10～30%のグロスコートを
組み合わせる

グロスコートのコスト▶

カラー剤80gとオキシ80gを使用する場合
10%：約**113円**～

つやつやカール

カール2液に対し、
10～20%のグロスコートを
組み合わせる

グロスコートのコスト▶

カール2液80mLを使用する場合
10%：約**57円**～

つやつやストレート

ストレート2液に対し、
10～20%のグロスコートを
組み合わせる

グロスコートのコスト▶

ストレート2液80gを使用する場合
10%：約**57円**～

コストは650mL（詰替）で算出

point

低コストで、仕上がりの差を実感しやすいメニュー提案が可能



フェルエ グロスコート

〈pH：5.5〉 後処理

- ・カチオン化セルロース（毛髪保護成分）
- ・アミノコンボジット×18※²（毛髪補修・保湿成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）
 - ラウロイルグルタミン酸ジ（フィトステリル/オクチルドデシル）
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量

150mL

650mL（詰替）

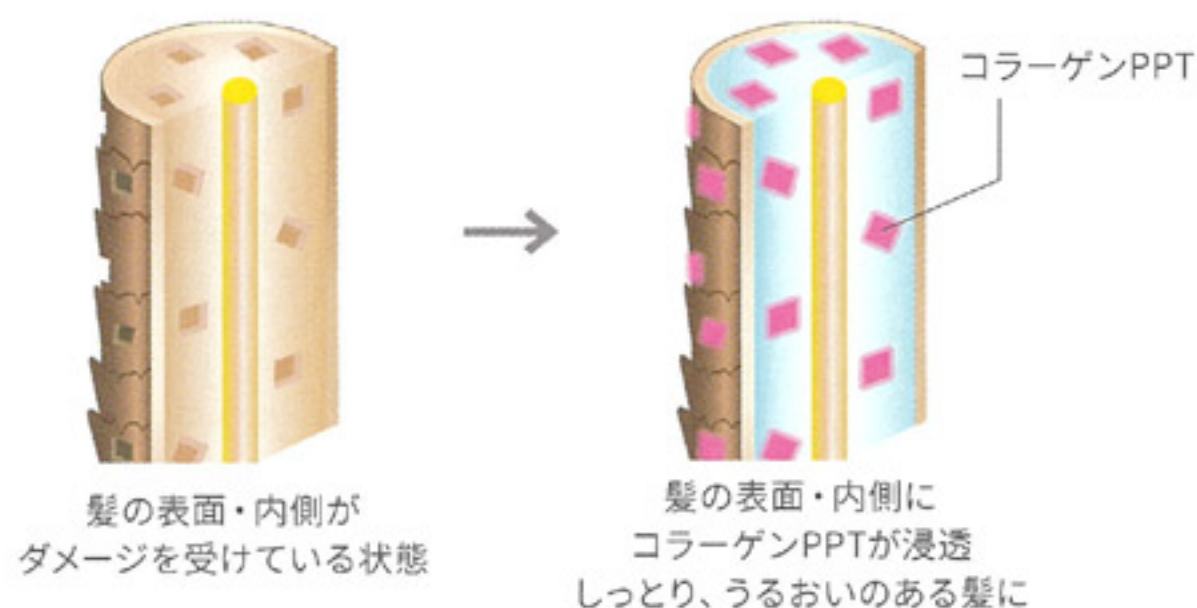
うるおい補給

フェルエ インナーモイスチャー

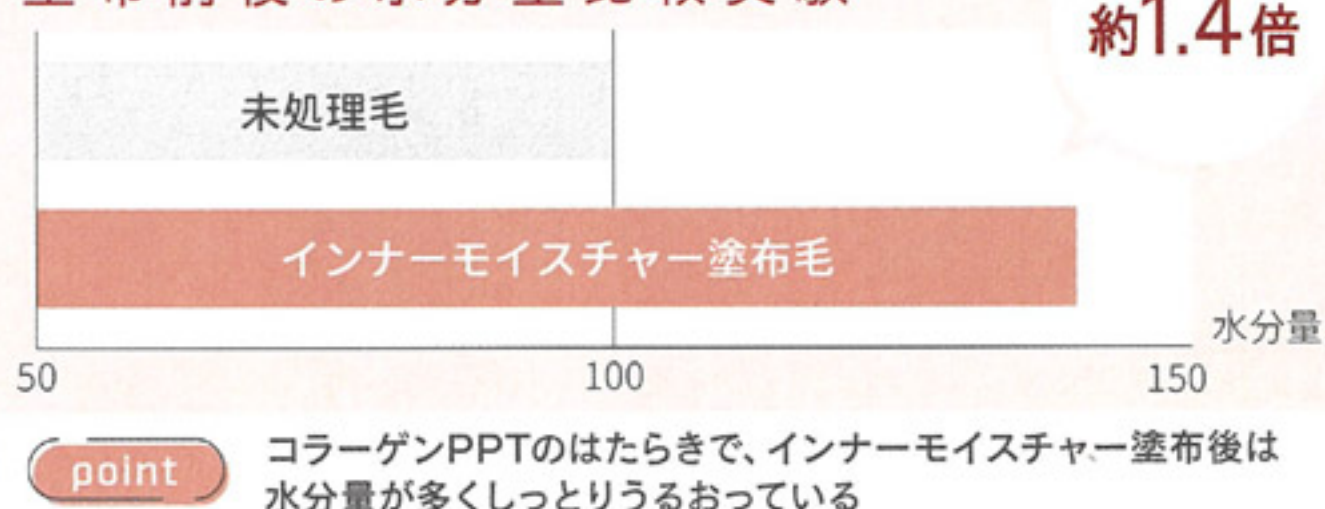
コラーゲンPPT (毛髪補修・保湿成分) 配合で、ダメージ毛を補修し、
カラーやパーマの仕上がりにはうるおいとやわらかさを与えるインナーモイスチャー。
ここでは使用後のうるおいや質感に着目しながら、インナーモイスチャーをご紹介します。

髪の毛の中でどんなことが起きているの？

分子量の異なるコラーゲンPPT (毛髪補修・保湿成分) がダメージ毛に浸透・吸着し、補修します。
髪にうるおいとやわらかさを与えます。



塗布前後の水分量比較実験



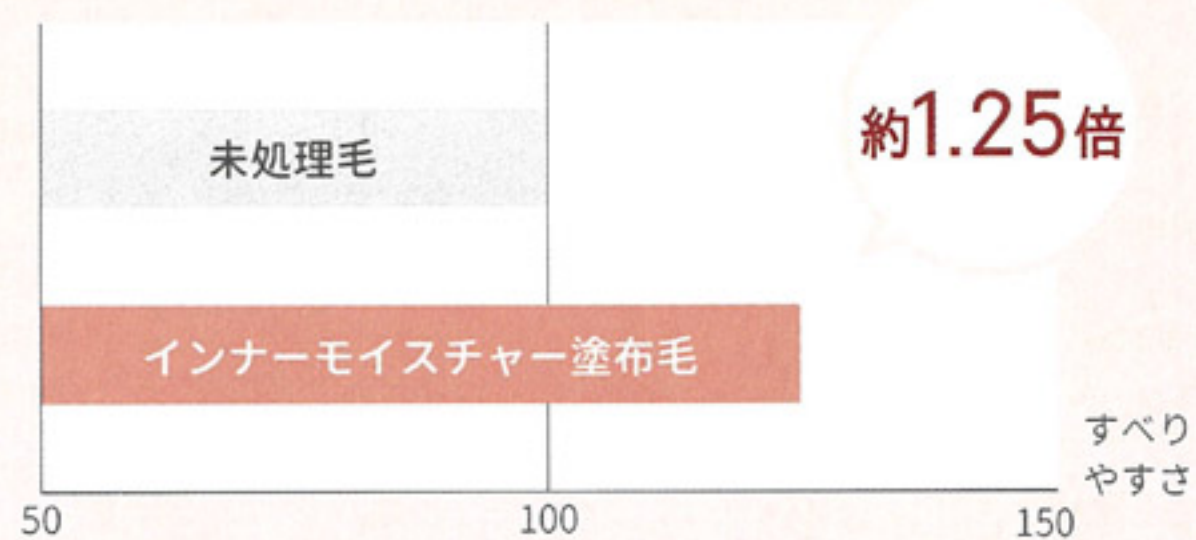
「うるおい補給」されると、どうなるの？

やわらかさ実験



point しっとりして、柔らかくなっている

毛髪表面のすべりやすさ比較



point すべりやすくなり、手触りが良くなっている

どんなメニューが展開できる？

コラーゲンカラー

1剤と2剤を混ぜたカラーカップに、
10～30%のインナーモイスチャーを
組み合わせる

インナーモイスチャーのコスト▶
カラー剤80gとオキシ80gを使用する場合
10%: 約**113円**～

コラーゲンカール

カール2液に対し、
10～20%のインナーモイスチャーを
組み合わせる

インナーモイスチャーのコスト▶
カール2液80mLを使用する場合
10%: 約**57円**～

コラーゲンストレート

ストレート2液に対し、
10～20%のインナーモイスチャーを
組み合わせる

インナーモイスチャーのコスト▶
ストレート2液80gを使用する場合
10%: 約**57円**～

コストは650mL (詰替) で算出

point 低コストで、仕上がりの差を実感しやすいメニュー提案が可能



フェルエ インナーモイスチャー

〈pH: 5.5〉 前処理

- ・コラーゲンPPT (毛髪補修・保湿成分)
- ・アミノコンボジット×18® (毛髪補修・保湿成分)
- ・CMC成分 (毛髪補修成分)
 - ラウロイルグルタミン酸ジ (フィトステリル/オクチルドデシル)
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量
150mL
650mL (詰替)

フェルエ インナーケラスト

リアクションケラチンPPT^{※1}（毛髪補修成分）が水と反応して髪の内部分で定着し、髪本来のハリ・コシ感を与え、カラーやパーマの持続性を高めるインナーケラスト。ここではリアクションケラチンPPTにフィーチャーしながらインナーケラストをご紹介します。

水と反応するってホント？

リアクションケラチンPPTは時間差で水に反応し、不溶化するため、しっかり毛髪を補修し、さらにその作用が長く続きます。

水との反応実験



水が入っている容器にインナーケラストを入れます。（水2：1インナーケラスト）



2～3分すると水と反応し、白くにごります。

何で白くなるの？

リアクションケラチンPPTの分子形状が変化するため、白い浮遊物として目に見えます。

【反応前】



【反応後】



point

2～3分経ってから反応するという「時間差がある」

反応が起きる前に毛髪内部へ浸透できる

ダメージ毛への作用を見てみたい！

リアクションケラチンPPTはカチオン化されているため、ダメージ部分ほど吸着しやすい性質を持ちます。（ $\oplus$ の電荷を帯びていること）

ダメージ毛への吸着実験



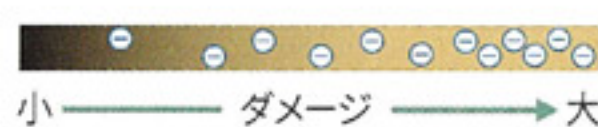
水との反応実験の液を2つ用意し、健康毛とダメージ毛を入れます。



容器を振り、毛髪に吸着させると時間が経つにつれ、ダメージ毛の液が透明に。

何で透明になるの？

髪には電荷バランスがあり、ダメージ部分ほど $\ominus$ に傾きます。 $\ominus$ の電荷を帯びたダメージ毛に $\oplus$ の電荷をもつリアクションケラチンPPTが吸着したということです。



point

$\ominus$ の電荷を強く帯びているダメージ毛に $\oplus$ の電荷をもったリアクションケラチンPPTが吸着

ダメージ毛に効率よく吸着し、効果を発揮する

リアクションケラチンPPTは毛髪内部のすき間を埋め、繊維状に形状変化するため、ハイダメージによってちぢれた髪でも補修することが可能です。

ハイダメージ毛の補修実験



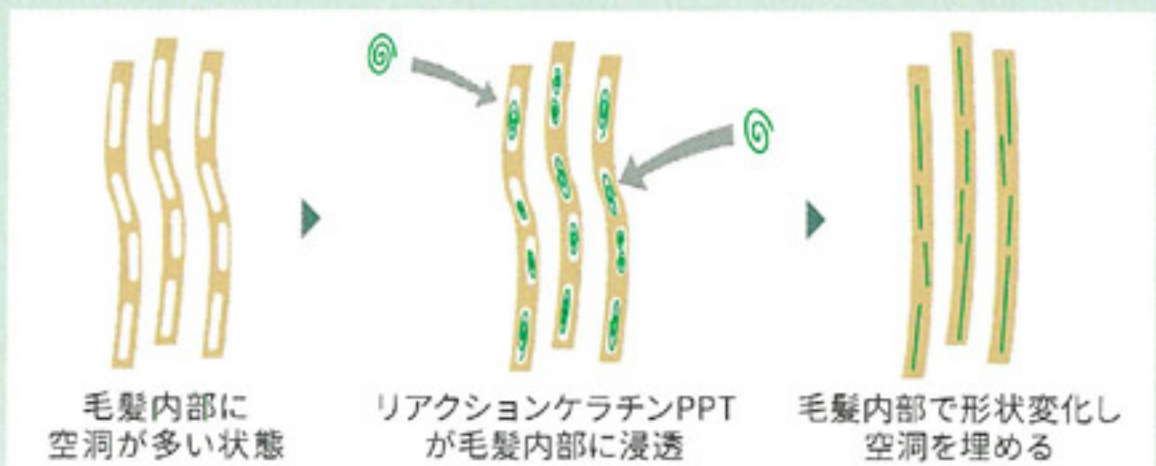
ハイダメージによってちぢれた状態



インナーケラストを吹き付け水洗します



ドライヤーで乾かすとちぢれが伸び、手触りが良くなります



毛髪内部に空洞が多い状態

リアクションケラチンPPTが毛髪内部に浸透

毛髪内部で形状変化し空洞を埋める

point

水と反応して髪の内部分で繊維状に形状が変化

失われたタンパク質（間充物質）の代わりになる

&

繊維状に変化するため毛髪内部に留まりやすい



フェルエ インナーケラスト

〈pH：6.3〉

前処理

- ・リアクションケラチンPPT（毛髪補修成分）
- ・アクティブケラチン^{※2}（毛髪補修成分）
- ・アミノコンボジット^{※3}（毛髪補修・保湿成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）
 - ラウロイルグルタミン酸ジ（フィトステリル/オクチルドデシル）
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量

180mL

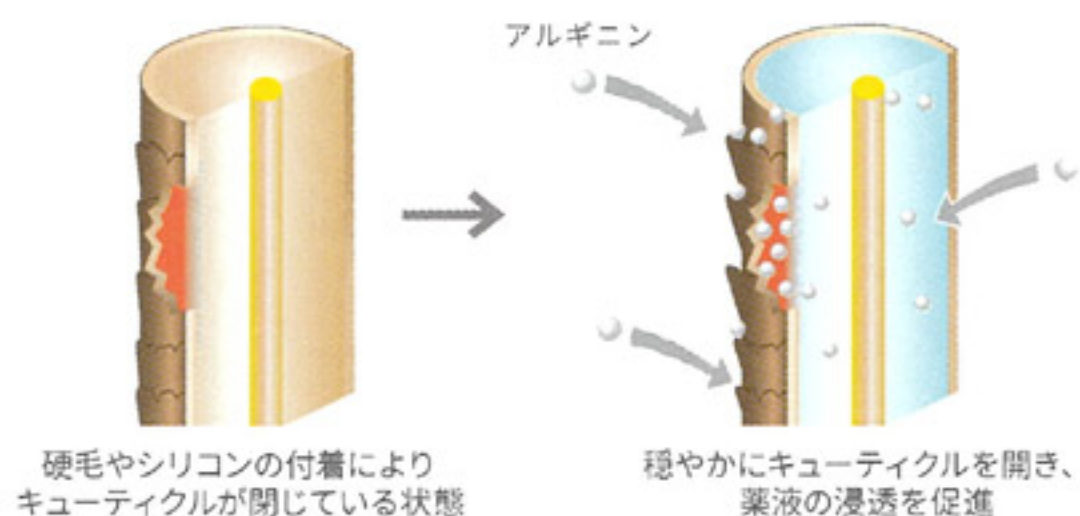
700mL（詰替）

フェルエ アルギソフナー

硬毛やくせ毛などの薬液が浸透しにくい髪を軟化し、薬液の浸透を促進するフェルエ アルギソフナー。
毛髪保護成分でありアルカリ剤でもあるアルギニンに着目しながら、アルギソフナーをご紹介します。

どういう仕組みで浸透をうながすの？

アルギニンが穏やかにキューティクルを開きます。また、塩結合を切断し、毛髪を軟化させます。タンパク質の溶解力が弱いため一般的なアルカリ剤に比べ、髪への負担がおさえられます。



point トリートメント作用も

毛髪を構成するアミノ酸の一種であるアルギニンは、プラスの電荷を持っています。マイナスの電荷を帯びたダメージ部にしっかり吸着し、保護・補修作用を発揮します。優れた浸透力と保湿力で毛髪内部にたっぷりうるおいを補給し、しなやかな髪に導きます。

毛髪を構成しているアミノ酸

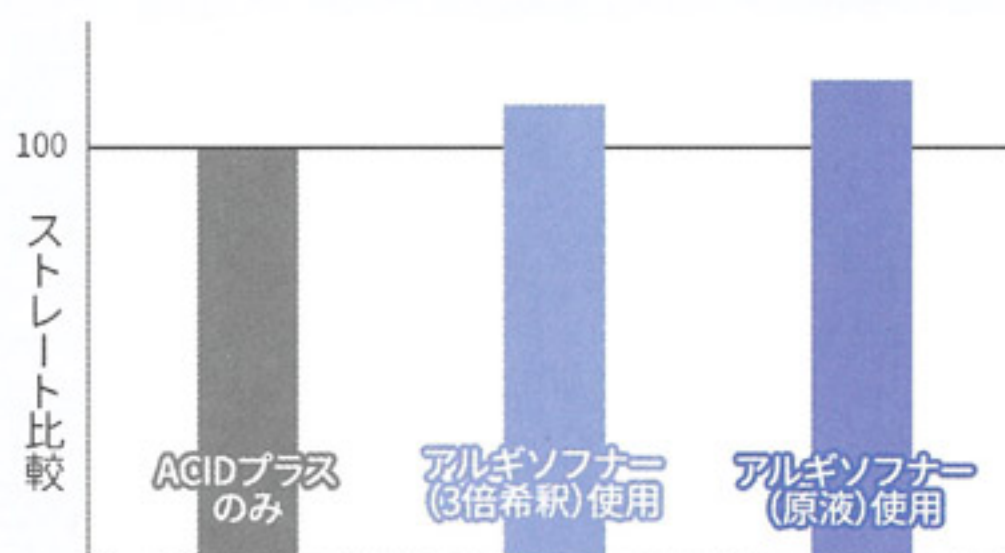
アルギニンは、毛髪に非常に多く含まれるアミノ酸の一種です

- シスチン-16~18%
- グルタミン酸-13~14%
- アルギニン-8~11%

使用するかしらないかで、どれくらい違う？

ストレート効率実験

R-21 ストレートコスメ ACIDプラス クリーム1の前処理でフェルエ アルギソフナーを使用した場合



point

薬液の浸透を促進し、パーマやストレートがかかりにくい髪への作用を高めます。

ヘアカラー染まり実験



point

アルギソフナーを使用することで、白髪などの染まりにくい髪の色浮きをおさえることができます。

「アルカリ」応用編

ヘアマニキュア落とし

トリートメント(ケアパック)の量に対し、10~30%のアルギソフナーを組み合わせ使用。

ヘアマニキュア褪色比較



point

ヘアマニキュア落としにトリートメントを使用する場合、アルギソフナーを組み合わせるとよりヘアマニキュアが落ちやすくなります。



スプレーヤーに入れて使用する場合は3~5倍に希釈してください

フェルエ アルギソフナー

〈pH : 10.5〉 前処理

- ・アルギニン(毛髪保護成分・アルカリ剤)
- ・アクティブセラチン^{※1}(毛髪補修成分)
- ・アミノコンポジット×18^{※2}(毛髪補修・保湿成分)
- ・CMC成分(毛髪補修成分)

セラミド2
コレステロール
ラノリン脂肪酸

容量
150mL
650mL(詰替)

シリコーン除去

トリートメントの定着UP

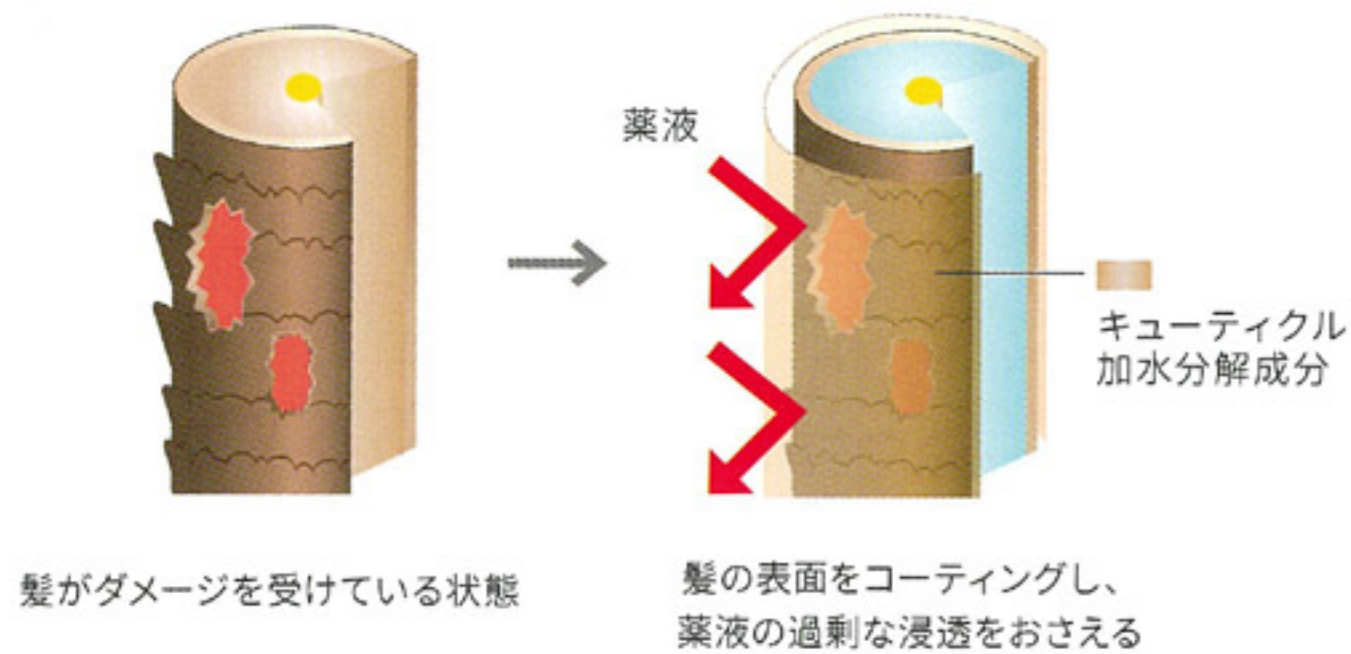
アルカリ作用により、毛髪に付着している余分なシリコーンを取り除きます。また、毛髪のpHをアルカリに傾けることでトリートメントの定着を良くします。

フェルエ キューティクルコート

ダメージ部分へ薬液の過剰な浸透を抑制するためのフェルエ キューティクルコート。
毛髪を保護するキューティクル加水分解成分※1（毛髪保護成分）に着目しながら、キューティクルコートをご紹介します。

どうやって薬液の浸透をおさえるの？

キューティクル加水分解成分が髪の毛の表面をコーティングすることで、薬液の過剰な浸透をおさえます。



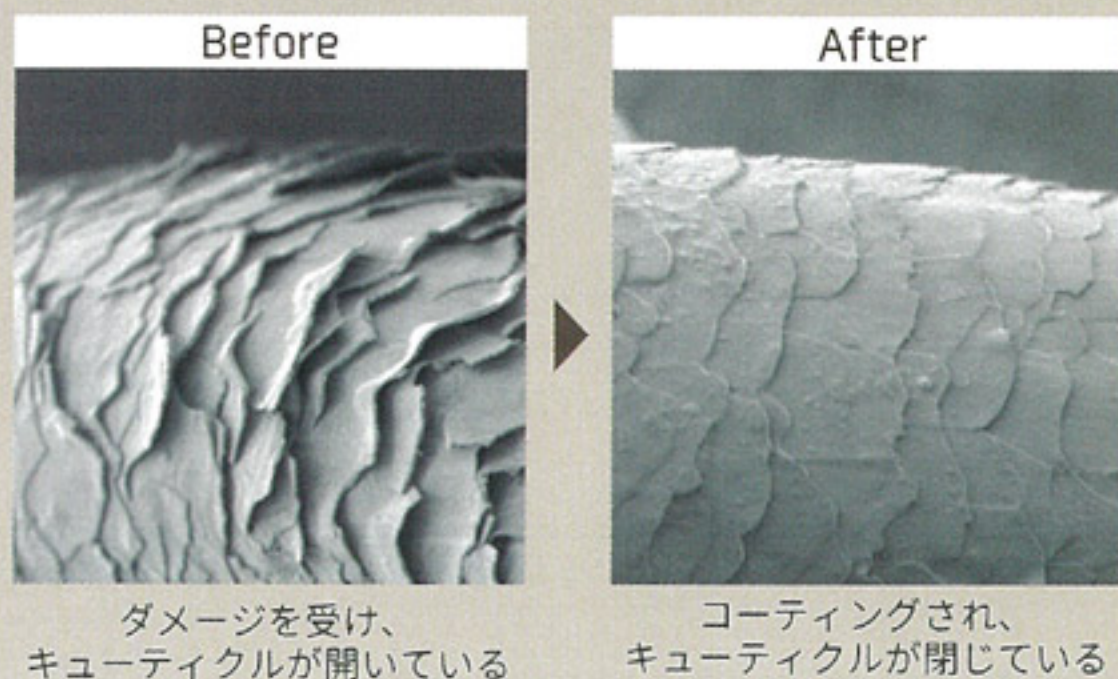
point

キューティクル加水分解成分って何？

キューティクル加水分解成分は、原料となる毛からわずかにしか得られないキューティクルを集め分解したものです。毛髪の表面をしっかりとコートする作用があります。

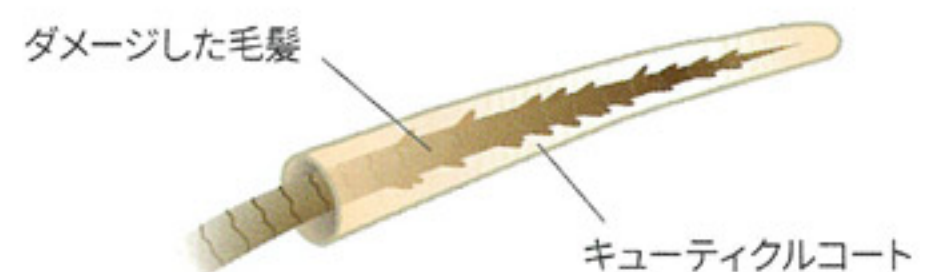
髪の毛の表面はどうなっているの？

塗布前後比較実験



point

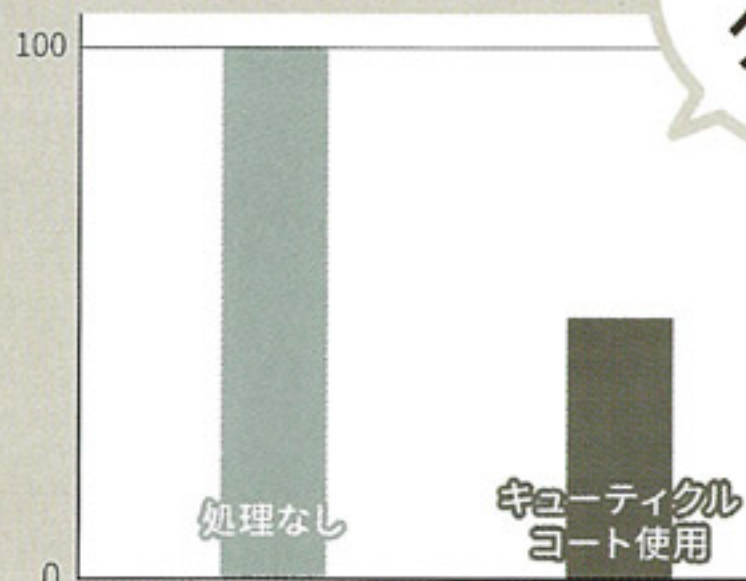
キューティクルのはがれたダメージ部分に擬似キューティクルをつくり、薬液の過剰浸透を防ぎます



どれくらいおさえられるの？

ストレート効率比較実験

R-21 ストレート EX 第1剤の前処理でフェルエ キューティクルコートを
使用した場合



point

薬液の浸透を抑制し、
ストレート効率がダウン

ダメージが進行している
毛先に使用すれば
薬液の過剰な浸透を
おさえられる



フェルエ キューティクルコート

〈pH：5.7〉 前処理

- ・キューティクル加水分解成分（毛髪保護成分）
- ・シルクPPT（毛髪補修成分）
- ・アミノコンボジット×18※2（毛髪補修・保湿成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）
 - イソアルキル（C10-40）アミドプロピルエチルジモニウムエトサルフェート
 - セラミド2
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量

250g

○イラストはすべてイメージです

○実験はすべてサンコール調べ

※1 PG加水分解ケラチン（羊毛）

※2 毛髪に含まれる18種類のアミノ酸混合物

フェルエ アルギソフナーについては裏面をチェック >>

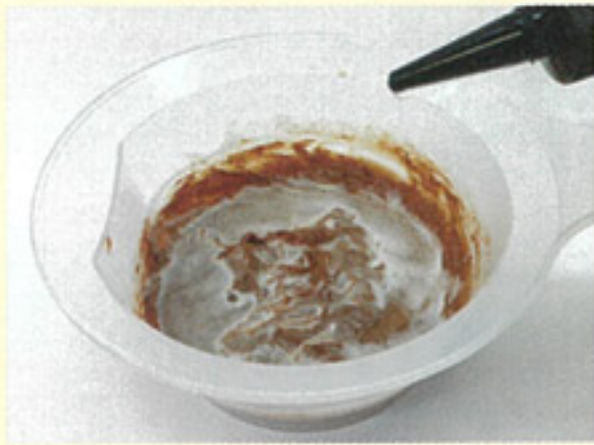
過酸化水素を除去

フェルエ プロトプラス

頭皮や髪に残った「過酸化水素」は、カラー直後の褪色やパサつきの原因に。
また、頭皮に残留すると脱毛などのトラブルの原因になるとも言われています。
そんな過酸化水素を除去するプロトプラスを詳しくご紹介します。

プロトプラスで乳化するとどうなるの？

過酸化水素除去実験

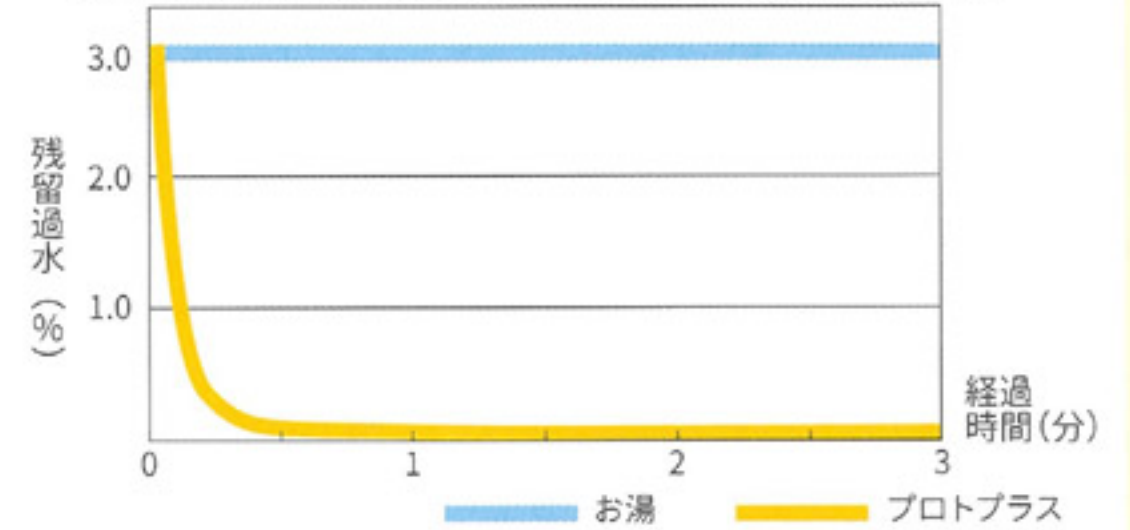


カラー剤が入ったカップにプロトプラスを入れて混ぜると、
過酸化水素が除去されモコモコの泡に！
泡になることで洗い流しやすくなります。

point すみやかに過酸化水素が除去される

過酸化水素 除去スピード比較

3%の過酸化水素水に対して同量のプロトプラスまたはお湯を添加



カラープロセスにおける
プロトプラスの使用法

カラーチェック後、
シャンプー台へ移動

ヘミング塗布

水洗いせず、髪全体に
原液を塗布し
1～2分ほどもみ込む



プロトプラス塗布

そのまま髪全体に
原液を塗布し
1～2分ほどもみ込む



洗い流し、
シャンプーをする

過酸化水素を除去したあとの髪の状態は？

カラー後の色持ち比較

染毛後、シャンプー→リンスの操作を14回（2週間分）繰り返した場合



カラー後の毛髪強度比較

染毛→乳化→水洗→ドライの操作を5回繰り返した場合

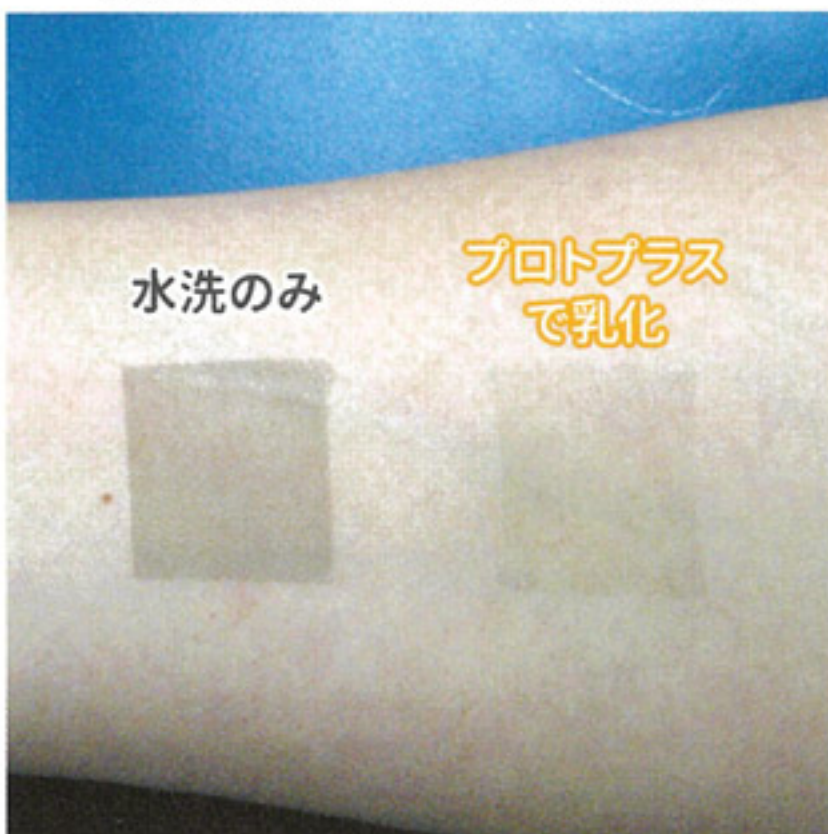


point

プロトプラスで過酸化水素を
除去することで褪色をおさえ、
髪のダメージ、施術後の
パサつきを防げる

沈着した色素も取り除ける！

皮膚（腕）にカラー剤を塗布し、15分放置



point

プロトプラスを使用すると、皮膚に
沈着した色素を効果的に取り除ける

頭皮やフェイスラインについた
色素も落とすことができる



フェルエ プロトプラス

〈pH：6.5〉 後処理

- ・カタラーゼ（毛髪保護成分）
- ・アミノコンポジット×18※（毛髪補修・保湿成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）
 - セラムド2
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量

150mL

1,100mL

フェルエ ヘミング

フェルエ ヘミングに配合されているヘマチン（毛髪保護成分）は、ヘモグロビンからタンパク質を除去してつくられています。そのため、タンパク質に吸着しやすい特性を持ち、カラーやパーマの作用を高めるためのさまざまな特長があります。

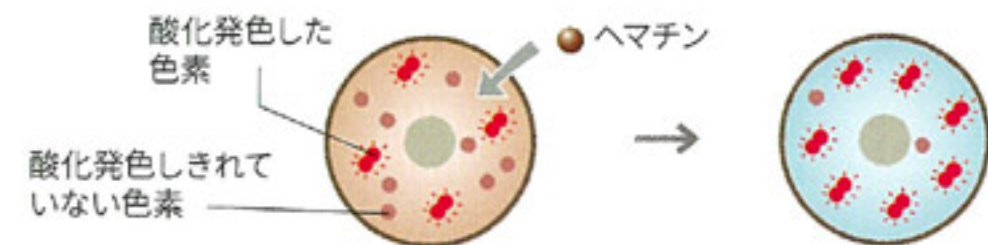
ヘミングをカラーで使用するとうなるの？

カラーの発色促進実験



point

ヘマチンには酸化促進作用があり、不完全発色の色素を発色させ、髪の毛の内部にしっかりと色素を定着させることで、色持ちを良くします



○ヘミングはカラーの放置時間を短縮するものではありません

カラープロセスにおける
ヘミングの使用方法

カラーチェック後、
シャンプー台へ移動

ヘミング塗布
水洗いせず、髪全体に
原液を塗布し
1～2分ほどもみ込む



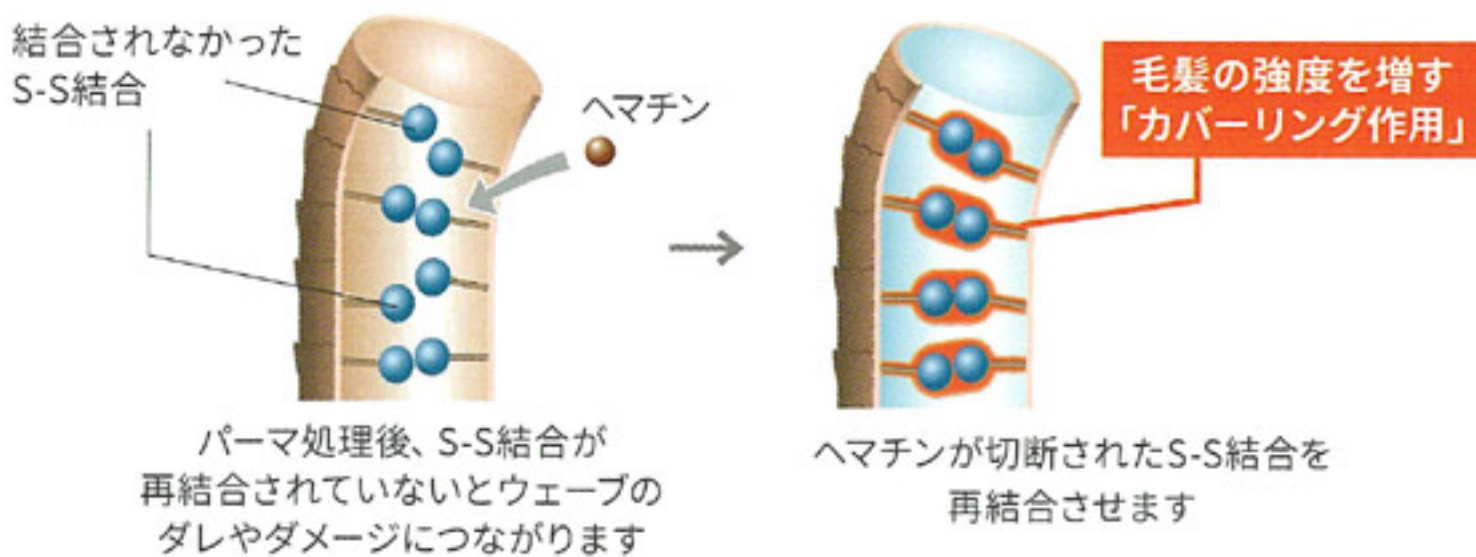
プロトプラス塗布
そのまま髪全体に
原液を塗布し
1～2分ほどもみ込む



洗い流し、
シャンプーをする

パーマやストレートの作用を高める仕組みは？

ヘマチンの酸化促進作用により、パーマやストレート時に切断されたS-S結合の再結合を促進します。2液塗布前に使用することで、通常よりも効率よく再結合させます。



point カバーリング作用って？

タンパク質に吸着しやすいヘマチンは髪の主成分のケラチンタンパク質と結合し、より毛髪の強度を高めハリ・コシ感のある髪に導きます。

ヘマチン処理後の弾力性は未処理と比較して

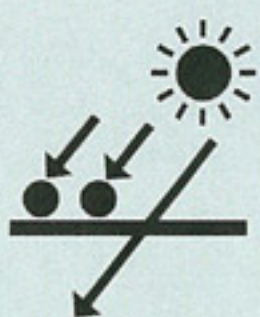
約2倍以上※



※当社比

ほかにもこんな特長が

ヘマチンには発色やS-S結合の促進以外にもこのような作用があります。



紫外線吸収作用

紫外線を吸収し、ダメージの進行を防ぎます
シャンプーや水洗いしても作用が持続します



消臭作用

消臭作用があり、薬剤のニオイや頭皮のニオイを消臭します



残留薬剤を除去

髪や頭皮に残ったヘアカラーやパーマの薬剤を除去します



その他の作用

スカルプ商品用として開発された成分で、頭皮環境を整えます



フェルエ ヘミング

〈pH：7.0〉 中間処理／後処理

- ・ヘマチン（毛髪保護成分）
- ・アクティブケラチン※1（毛髪補修成分）
- ・アミノコンポジット×18※2（毛髪補修・保護成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）

ラウロイルグルタミン酸ジ（フィトステリル/オクチルドデシル）
コレステロール
ラノリン脂肪酸

容量
150mL
700mL(詰替)

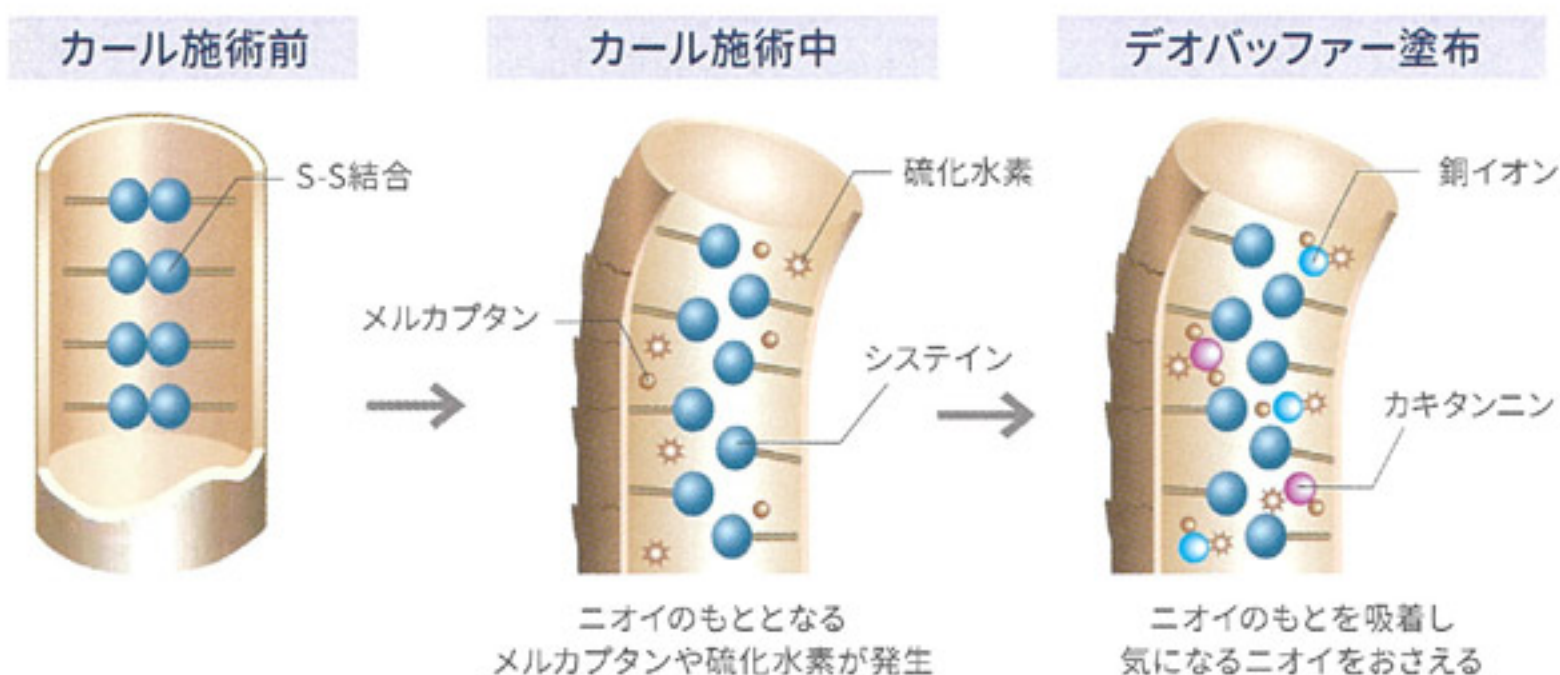
消臭バッファーリンス

フェルエ デオバッファー

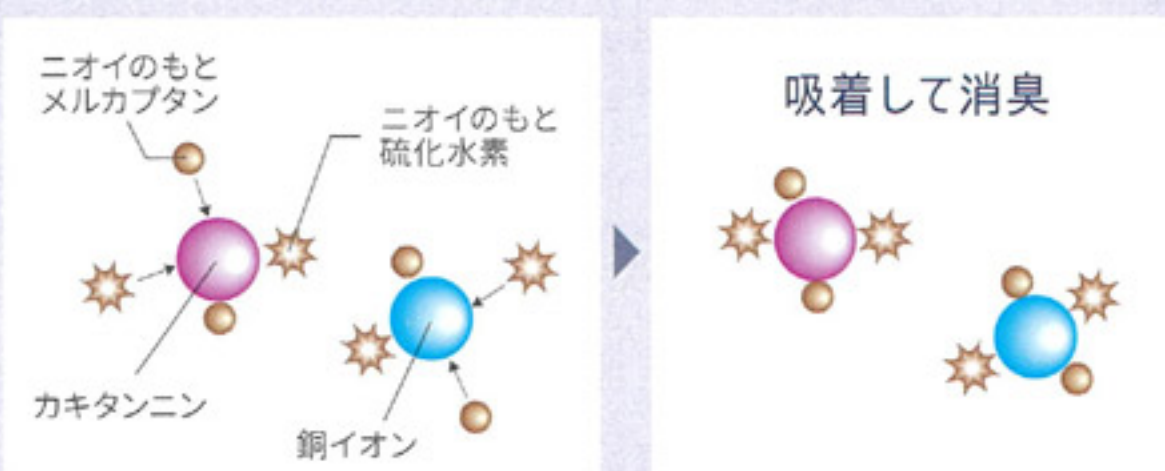
パーマ施術時に発生するニオイや残臭にはたらきかけるフェルエ デオバッファー。
ニオイをおさえる仕組みに着目しながらデオバッファーをご紹介します。

どうやってニオイをおさえるの？

デオバッファーに配合されているカキタンニン(毛髪保護成分)と硫酸銅(消臭成分)がニオイのもととなるメルカプタンと硫化水素を吸着。施術中の気になるニオイをおさえます。

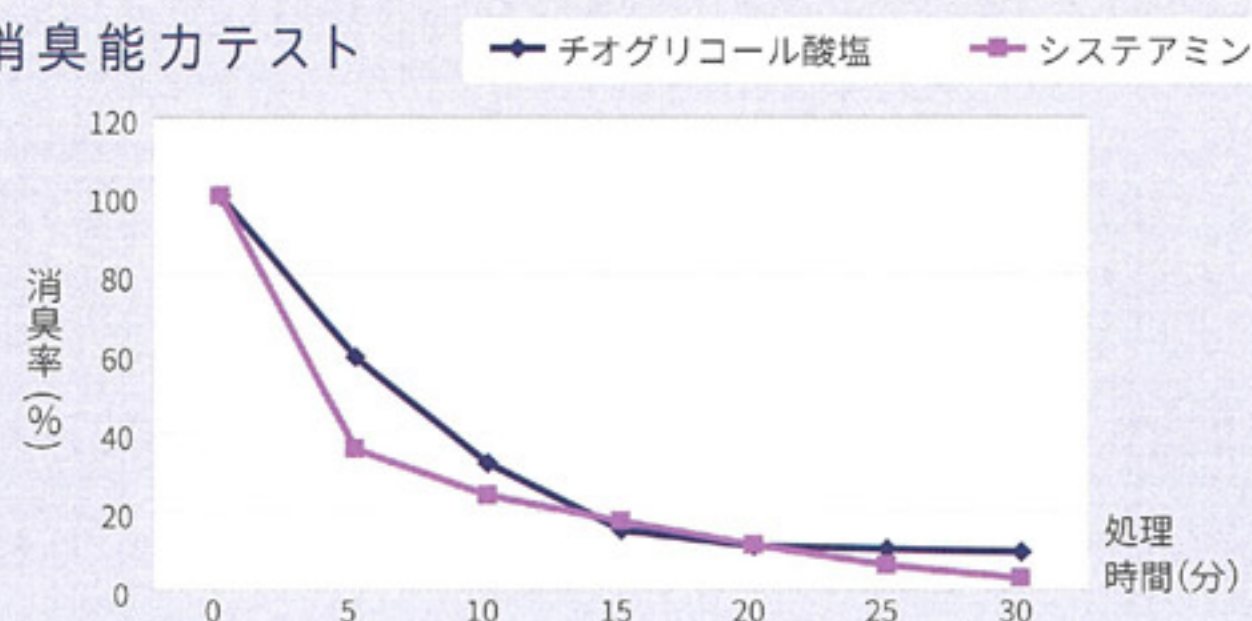


point カキタンニンと銅イオンがニオイのもとを吸着



どのくらいニオイをおさえるの？

消臭能力テスト



point パーマ臭が30分でほぼおさえられ、施術後も快適に過ごせます

こんな作用も

デオバッファーは、アルカリ性になっている毛髪を弱酸性に近づけることができます。pHが4.0で一般的な酸リンスよりも毛髪の等電点に近く、毛髪をゆるやかに弱酸性にすることができるため、過収れんなどのトラブルが起きにくいことが特長です。



使用プロセス

カール

1液塗布

テストカール

中間水洗

ヘミング塗布

デオバッファー塗布

原液または3倍に希釈して
適量を髪全体に塗布

2液塗布

洗い流し、
シャンプーをする

ストレート

1液塗布

軟化チェック

中間水洗

ドライ・アイロン操作

ヘミング塗布

デオバッファー塗布

原液または3倍に希釈して
適量を髪全体に塗布

2液塗布

洗い流し、
シャンプーをする



原液または3倍前後に希釈してください

フェルエ デオバッファー

〈pH : 4.0〉 中間処理

- ・ カキタンニン (毛髪保護成分)
- ・ 硫酸銅 (消臭成分)
- ・ アクティブケラチン※1 (毛髪補修成分)
- ・ アミノコンボジット×18※2 (毛髪補修・保湿成分)
- ・ CMC成分 (毛髪補修成分)
 - ラウロイルグルタミン酸ジ(フィトステリル/オクチルドデシル)
 - コレステロール
 - ラノリン脂肪酸

容量

700mL

○イラストはすべてイメージです

○実験はすべてサンコール調べ

※1 加水分解ケラチン(羊毛)

※2 毛髪に含まれる18種類のアミノ酸混合物

フェルエ アシッドウォーターについては裏面をチェック >>

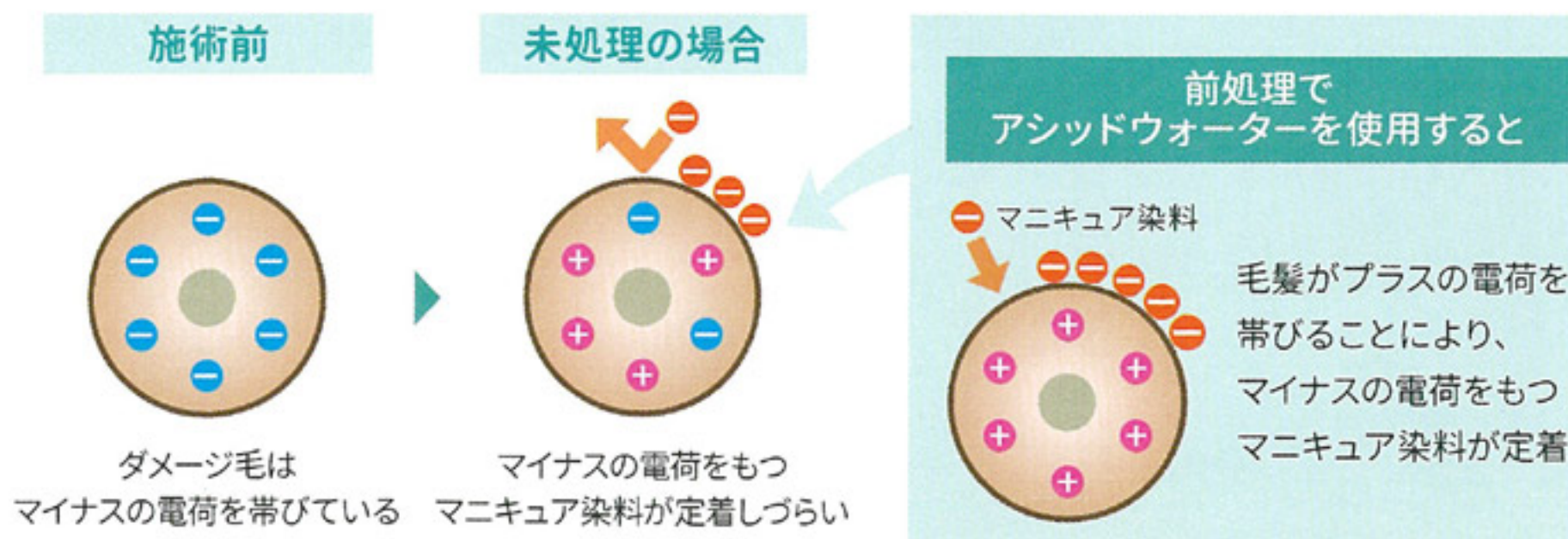
染料定着・残留アルカリの除去

フェルエ アシッドウォーター

アシッドウォーターは髪のパHバランスを整える酸リンスです。ヘアマニキュアの前処理や、カーリング料、ストレートヘアセット料の中間処理等におすすめのアシッドウォーターの特長をご紹介します。

ヘアマニキュアが定着するってホント？

ヘアマニキュア染料は、一般的に⊖の電荷を帯びています。そのため、アシッドウォーターを使用し、毛髪のパHを下げ電荷を⊕にすることで、よりマニキュア染料を効率よく定着させ、色持ちを良くします。



ヘアマニキュア染料定着比較



残留アルカリを除去するとどうなるの？

アルカリはタンパク質を溶解するはたらきがあります。アルカリによる負担をおさえるため、カラーやパーマの後は残留アルカリを除去することが必要です。カール、ストレートの1液塗布後やカラー直後にアシッドウォーターで処理することで、アルカリによるダメージを低減します。

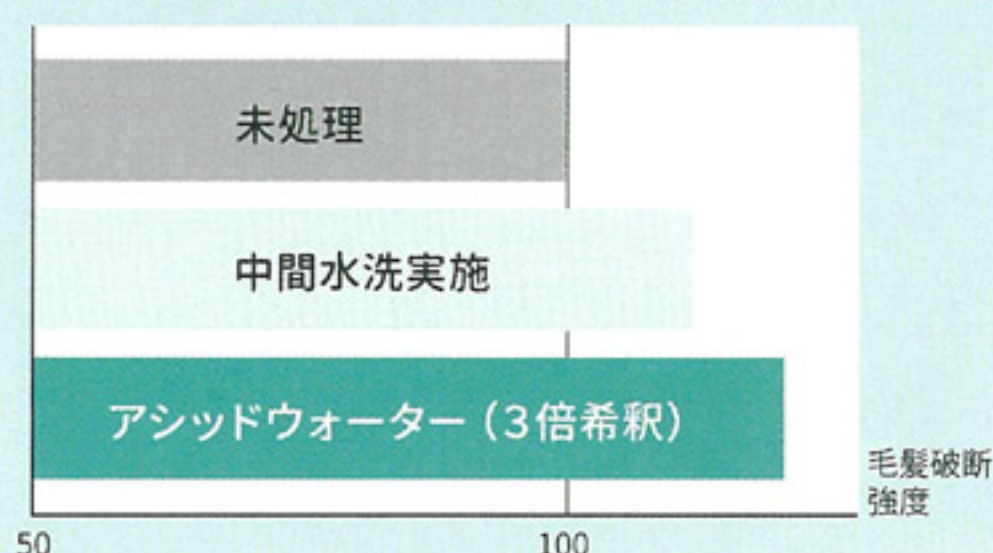
アルカリ剤による毛髪の溶解実験



point 残留アルカリをきちんと除去することが大切

毛髪強度比較

カール1液放置後、各処理（未処理/中間水洗/アシッドウォーター）を実施し、2液施術。



point

アシッドウォーターで
残留アルカリを除去することで
毛髪へのダメージが低減

使用プロセス

ヘアマニキュア 染料定着	カラー 残留アルカリの除去	カール 残留アルカリの除去	ストレート 残留アルカリの除去
アシッドウォーター塗布 原液または3～5倍に 希釈して適量を髪全体に塗布	カラーチェック後、 シャンプー台へ移動	1液塗布	1液塗布
ドライ	ヘミング塗布	テストカール	軟化チェック
ヘアマニキュア塗布	プロトプラス塗布	中間水洗	中間水洗
カラーチェック	アシッドウォーター塗布 5倍に希釈して 適量を髪全体に塗布	ヘミング塗布	ドライ・アイロン操作
洗い流し、 シャンプーをする	洗い流し、 シャンプーをする	アシッドウォーター塗布 原液または3～5倍に 希釈して適量を髪全体に塗布	ヘミング塗布
		2液塗布	アシッドウォーター塗布 原液または3～5倍に 希釈して適量を髪全体に塗布
		洗い流し、 シャンプーをする	2液塗布
			洗い流し、 シャンプーをする



スプレーヤーに入れて使用する場合は3～5倍に希釈してください

フェルエ アシッドウォーター

〈pH：3.0〉 前処理／中間処理／後処理

- ・乳酸（pH調整剤）
- ・クエン酸（pH調整剤）
- ・アクティブケラチン※1（毛髪補修成分）
- ・アミノコンボジット×18※2（毛髪補修・保湿成分）
- ・CMC成分（毛髪補修成分）

セラミド2
コレステロール
ラノリン脂肪酸

容量

650mL

○イラストはすべてイメージです

○実験はすべてサンコール調べ

※1 加水分解ケラチン（羊毛）

※2 毛髪に含まれる18種類のアミノ酸混合物

フェルエ デオバッファーについては裏面をチェック >>